INITIATIVE
HUB

データサイエンス・AIイノベーションの地域中核拠点

イニシアティブ棟のご案内

滋賀大学
SHIGA UNIVERSITY

「ヒト×技術力×研究力×滋賀大学の組織力」で オープンイノベーションを創出

学長ご挨拶

日本をアップデートするためにデータサイエンス高度基盤人財の養成が喫緊の課題であるなか、データサイエンスを通じた文理融合を目指す本学は、多くの企業等と連携した共同研究や先端研究を展開し，国内最多の高度データ関連人材を社会に輩出しています。そして、AIを含むデータサイエンスの社会実装を推進し、Society5.0時代における「社会との共創」の旗手として、データサイエンス教育研究の発展と様々な産業のイノベーション・競争力強化に取り組んでいます。

学内全体を共創拠点「DS・AIイノベーションコモンズ」として整備して、企業や地域と研究者や学生が自由に交流し、協働する共創インキュベーションの場を設け、また連携先施設の活用を図ります。また、キャンパス全体のみならず、大学周辺にも共創拠点を広げ、複合化が進むDS・AI領域におけるイノベーションをリードしていく「DS・AIイノベーションコモンズ構想」を掲げ、彦根キャンパスをDS分野の全国的かつトップレベルの教育研究拠点として、本格的なDS研究者コミュニティの構築と世界で求められるデータサイエンティストを育成してまいります。

今回開設したコモンズ中核施設「イニシアティブ棟」において、DS先端研究の推進と課題解決のためのオープンサイエンスを展開し、社会と共創する往還型の教育研究を推進します。ハード・ソフト面が一体となって様々なイノベーションを生み出す拠点として、多様な人々と考え方の相違を超え新しいアイデアを生み出しやすい空間を醸成し、データサイエンス・AI研究を通じて産業の進展を促進してまいります。

滋賀大学長　竹村彰通

ヴィジュアルアイデンティティ

INITIATIVE
HUB

世ノ一　善生 / YONOICHI YOSHIO
滋賀大学教育学部教授
専門：グラフィックデザイン、タイポグラフィ

シンボルマークとロゴタイプ

水平方向から集められた膨大なビックデータの関係や傾向を読み解き、そこから有益で創造的な情報を垂直にアウトプットする様子を表した。

イニシアティブには「率先」の意味もあるので、新しいビジョンを指し示すような矢印を視覚的な基本要素としてマークを構成した。

また、集まるのはデータだけでなく、イニシアティブ棟で行われる活動に伴って人々が集まるイメージも重ねている。

SHIGA UNIVERSITY Partner-Eco System

本学と特に強い連携関係にある企業ロゴを一堂に集め、パートナーシップマークを制作いたしました。本マークには、産業界と学術界が相互に連携・協働し、共に未来社会の創造に寄与するという強い理念が込められております。マーク中心にある滋賀大学とそれぞれの企業との信頼関係と連携の深化を視覚的に表現した本作品は、産学連携が拡がる様子と、その力強い結びつきを象徴するものです。

データサイエンス・AIによる滋賀大学 イノベーションコモンズ構想

目指す方向性

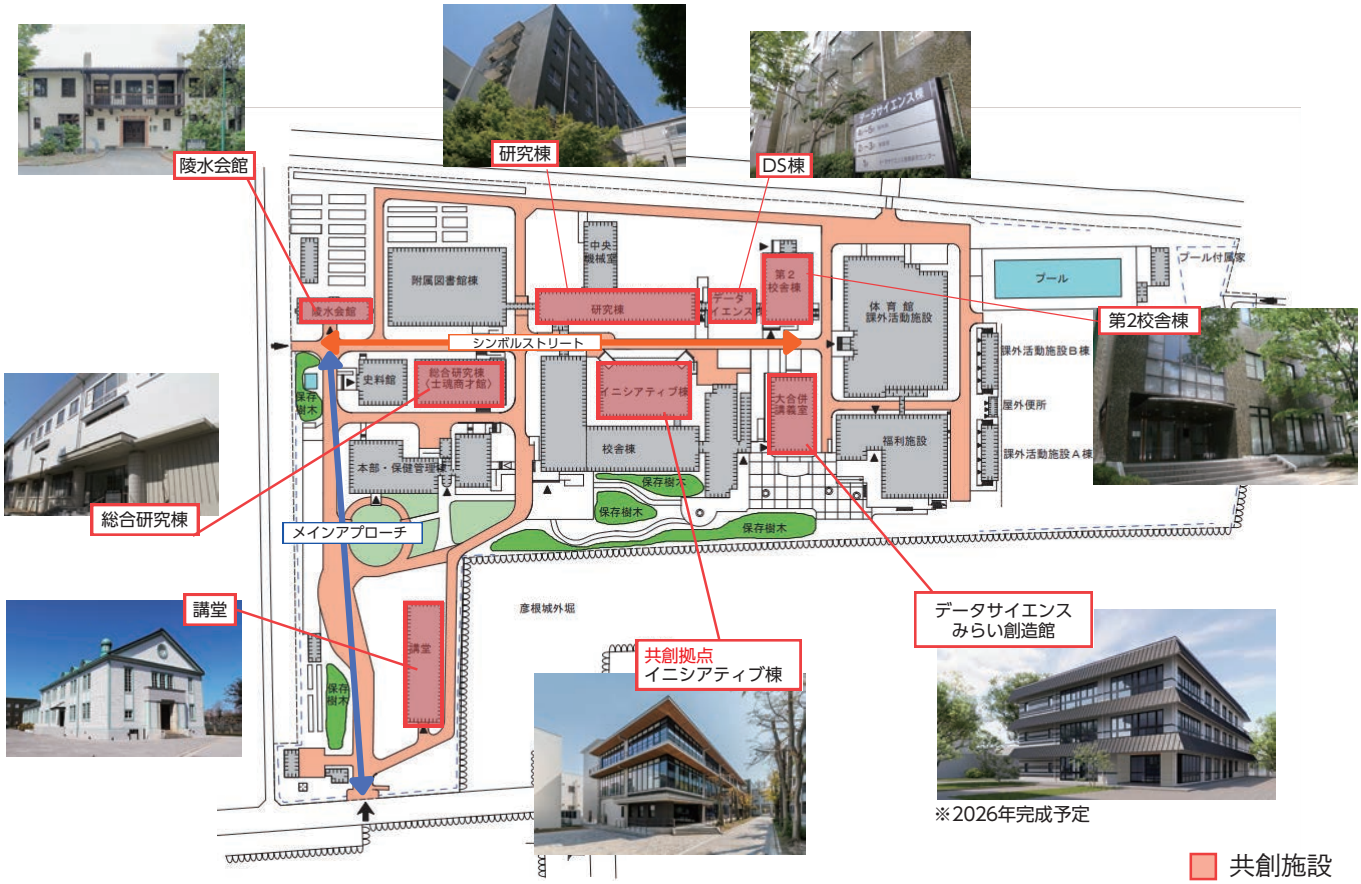
AIを含むDSの社会実装を推進
Society5.0時代における「社会との共創」の旗手としての役割
産業のイノベーション・競争力強化への貢献

共創拠点の整備 ➡イニシアティブ棟

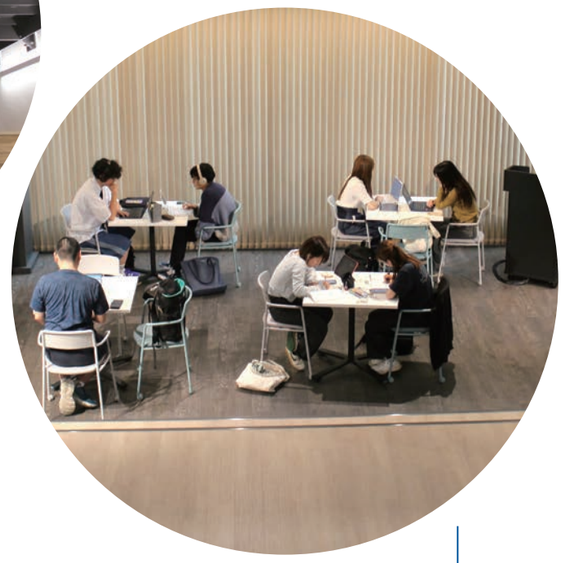
学内全体を共創拠点として整備、大学周辺にも拠点を広げる
企業や地域と研究者や学生が自由に交流・協働する
共創インキュベーションの場を設置
DS・AI領域におけるイノベーションをリード

社　会	滋賀大学
データサイエンスの社会的要請 データサイエンティスト不足	DSを通じた文理融合の推進 企業等と連携した共同研究、先端研究の展開 高度人材の育成

キャンパスに拡がる共創施設



役割に応じたソフト&ハード一体の3つの「先進的空間」



未来創生スクエア

普段は学生同士、学生と教員、学生と企業、企業と教員が交流する場として利用します。イベント開催時には発表ステージとなり、観客は階段スペースから観覧します。

創竹庵・石畳ゾーン

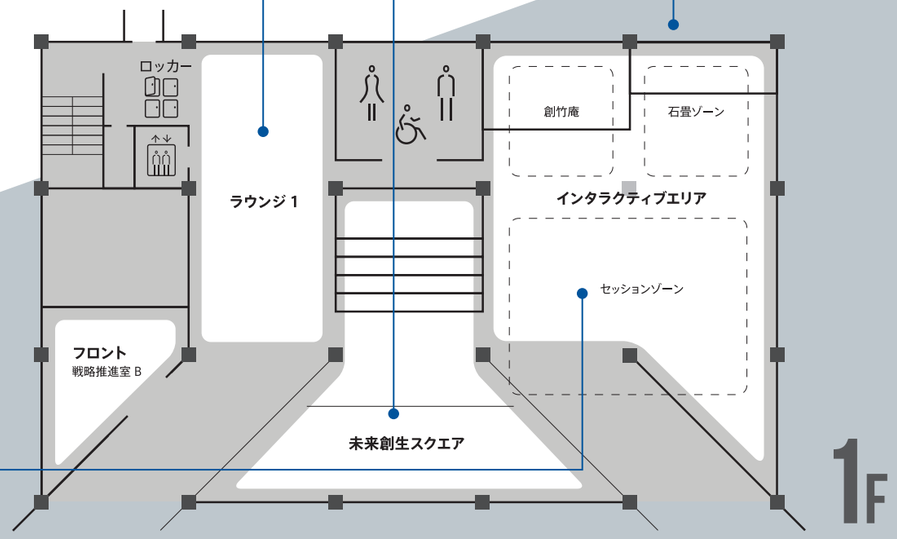
彦根城や武家屋敷をイメージした和風モダンなエリアで、海外の研究者との交流の場となるほか、膝を突き合わせて議論ができる自由な発想を生み出す場となります。

ラウンジ1

本ラウンジは、ゆとりと交流をはぐくむ多目的空間です。カウンターテーブル、個人ロッカー、ソファー等を備えた快適な共用スペースで、学内外の来訪者を迎える応接スペースとしてもご利用いただけます。飲食も可能なため、落ち着いた雰囲気の中で、交流とリフレッシュのひとときをお過ごしください。

セッションゾーン

セッションゾーンは、学びと交流が交差する自由な空間です。個人での学習やグループでのディスカッションはもちろん、小規模なイベントやワークショップの開催にも対応しています。多様な交流やアイデアの発信を促進する場として、学生同士のつながりや創造的な活動を支援します。

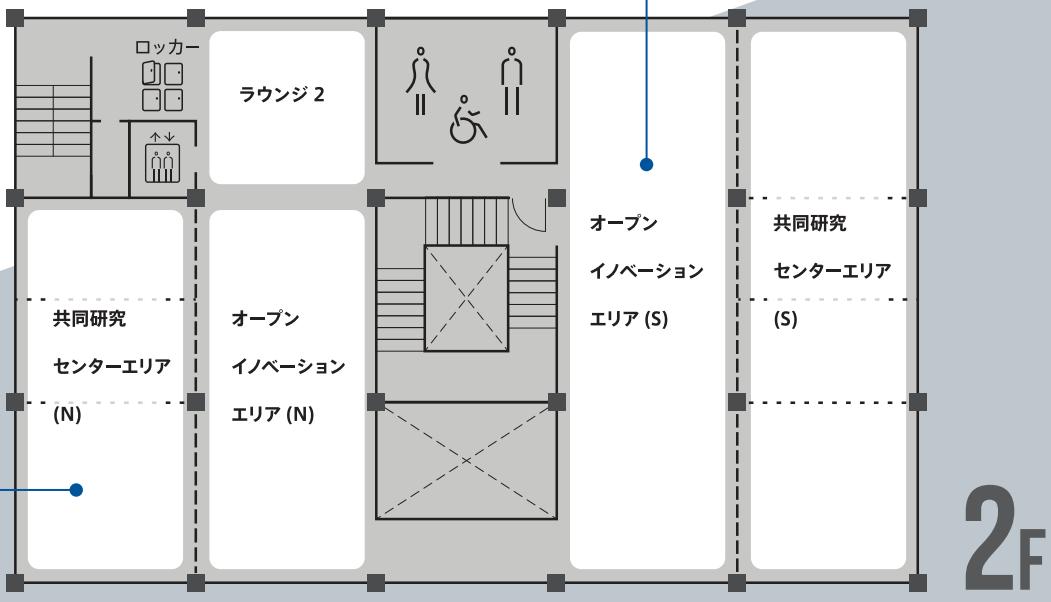


未来創生フロア

多様な人々が集まり未来創造のアイデアを発出する場

オープンイノベーションエリア

共有スペースであるオープンイノベーションエリアでは、企業間交流、企業と大学院生の交流、企業と教員の交流の場となります。
また、企業との共同研究に参加する学生にとっては、現実社会データによる実践教育の場となります。

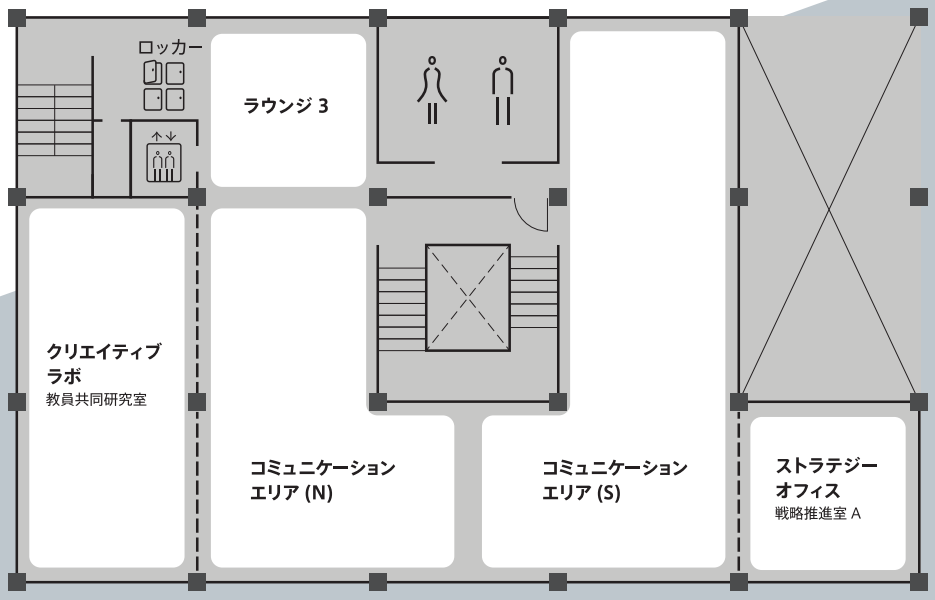


オープンイノベーションフロア

企業同士がコラボ、また研鑽しながら世界を牽引する技術を創造する場

共同研究センターエリア

JSSRセンター（あいおいニッセイ同和損害保険×滋賀大）、DEMLセンター（帝国データバンク×滋賀大）、NSIセンター（日東電工×滋賀大）などの共同研究ラボが入居するほか、インキュベーション施設を設け、産学連携を推進する場となります。



3F

クリエイティブフロア

課題解決ならびに基礎研究を目的とした共同研究員が、
互いに刺激し合いながら研究力を磨く場

クリエイティブラボ
コミュニケーションエリア
ストラテジーオフィス

クリエイティブラボはプロジェクト型教員の共同研究室となっています。
共有スペースであるコミュケーションエリアは、大学院生、企業、教員の研究の場となるほか、WEB会議ブースを設置しています。
ストラテジーオフィスでは、URA(University　Research　Administrator)などの執務室となります。

データサイエンス・AIイノベーションコモンズ形成基金
ご寄附のお願い

本学では、キャンパスと周辺一帯に共創拠点「データサイエンス・AIイノベーションコモンズ」を形成し、「企業×大学×地域」の融合による地域創生、イノベーション創出を推進し、我が国の国際競争力を引き上げてまいります。

スピード感あふれるコモンズ形成のために「データサイエンス・AIイノベーションコモンズ形成基金」を創設し、これを財源として建設したコモンズ中核施設(イニシアティブ棟)における産学共創の拡充や教育研究環境の高度化を進める計画をスタートさせました。

「湖国から世界への挑戦」を進める滋賀大学へのご支援を賜りたく、なにとぞお願い申し上げます。

ご寄附への特典

顕彰プレートの設置

イニシアティブ棟エントランスに設置

団体　寄附額　100万円以上の場合

個人　寄附額　　30万円以上の場合

学長主催「感謝の集い」ご招待

紺綬褒章の申請

団体　寄附額　1,000万円以上の場合

個人　寄附額　　500万円以上の場合

イニシアティブ棟 エントランス

イニシアティブ棟 顕彰プレート

税制上の優遇措置

団体　寄附金の全額を損金算入することができます。

個人　所得控除を受けることができます。

寄附に関するお問い合わせはこちら

寄附・基金HP

イニシアティブ棟ご見学等のお問い合わせ

イニシアティブ棟フロント

（滋賀大学データサイエンス・AIイノベーション研究推進センター戦略推進室）

TEL：0749-27-1266

E-mail：dser-center@biwako.shiga-u.ac.jp

彦根キャンパスマップ

07012025